

<参考資料>有料化導入の目的（各市の答申文から）

都市名	大津市	奈良市	京都市	米子市	三鷹市
答申年月	平成23年1月	平成21年3月	平成17年7月	平成18年9月	平成17年4月
有料化の目的	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の行動をごみ減量の行動へ誘導（動機付け） ②ごみ排出量に応じた負担の公平化 ③ごみの現状、減量・リサイクル等に対する、市民の関心の向上 ④次期焼却施設の規模縮小等による財政負担の軽減化 ⑤市民や市民グループの自主的なごみ減量等環境負荷低減行動を育む財源の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみ減量の促進 ②公平負担 ③ごみに対する意識の向上 ④再生資源の分別促進 ⑤財政負担の軽減 ⑥地球環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみ減量（発生抑制、再使用）の促進 ・ごみ減量への経済的インセンティブ ②費用負担の公平化 ・ごみを多く出す人ほど負担が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみ減量化の一層の推進 ・最終処分場の延命化 ②ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保 ③ごみ処理経費に係る財源確保 ・受益者負担の原則 	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみ減量、資源化の推進 ②ごみ処理経費の負担の公平化 ③市民・事業者の意識改革 ④環境負荷とごみ処理経費の軽減 ⑤最終処分場の延命化